

1 単元名 メディアで表現された効果について考えよう

(主な教材：「映像作品の表現を考える」 教育出版『伝え合う言葉 中学国語2』)

2 本単元における言語活動

絵コンテの言葉による表現の効果についてまとめる。

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕C (1) イ)

3 単元について

(1) 単元観

本単元は、上記単元の目標を踏まえ、漫画・映像と絵コンテの描写の違いを理解し、絵コンテを構成する要素（SE や PAN など）に込められた情報を整理し、効果や作成者の考えや意図について学習する。漫画・映像と絵コンテの描写の違いや、効果や意図について考える学習を通して、言葉とメディアの結びつきやメディアに込められた情報について考える。

生徒にとって身近なメディアとして、SNS や動画配信サイトが挙げられるが、そこには編集されたメディアが数多くあふれている。生活の中で、テレビやインターネットを通して、多くの生徒が動画にふれる経験をもっていると思われる。小中学生の将来なりたい仕事として、近年「Youtuber」が上位にきていることから、動画やメディアに出演する人に対する興味は高いといえるだろう。しかし、実際の動画から編集者の意図を捉えたり、考えたりする機会は少ないのではないだろうか。

本単元では、絵コンテの仕組みや特徴、言葉による表現について学習する。教科書の漫画と絵コンテの比較を例に、映像と絵コンテの比較を通し、絵コンテに表れた言葉がもつ意味や価値について考える。普段目にしている映像がどのように作られているのか知るとともに、中学校学習指導要領「1教科の目標」にある「言葉がもつ価値」について理解を深めることができるだろう。生徒にとって身近な動画や映像をテーマとすることで、より主体的な取組になると考える。

また、扱う漫画や絵コンテは、絵だけで表現するのではなく、文字で表現することが可能なメディアである。絵コンテには、1年次に学習している擬態語、擬声語による表現が多く使われる。アニメーションではどう表現されるか考えることも、日本語に対する興味・関心を高めることにつながるはずである。

(2) 生徒の実態

(省略)

(3) 指導観

生徒が日頃から慣れ親しんでいるメディアについて学習することで、授業に前向きに取り組めると考える。日頃から多くのメディアに接しているからこそ、映像作品に親しみを感じているが、その裏には作者の意図や考えがあり、何をどのように表現するか考えられて映像が生み出されていることに気づかせたい。

アンケート調査で無声映像を見せたことで、普段目にする映像は映像以外にもさまざまな付加的な要素で情報を補完していることに目が向いた。映像には、人物の声（セリフ）はもちろん、背景の色みや移り変わり、自然に聞こえてくるはずであろう音が聞こえている。これらに加え、自然にはありえない音や音楽が加えられることで場面が演出される。映像作品の音声がどのような効果を期待して用いられているか考えさせたい。

また、映像作品という連続性のあるものを、あえて断片的に描く絵コンテでは、途中の経過を想像させ、どうつなぎ合わせるのか考える必要がある。カットごとの因果関係がわかるように配置し、静止画として詳細に描くことができない時間、登場人物の動きや表情の変化を指示するために、言葉が付け加えられていることに気づかせたい。そしてそれを表現したい世界を言葉でどう補うか考えることで、受信者としてだけでなく、情報の発信者の立場としてもメディアに接していく姿勢を育みたい。

授業では、漫画と絵コンテ、映像作品と絵コンテという異なる形式で表現されたメディアを比較するが、異なるメディアにおける共通点や相違点を見つけていく活動は、これからさまざまな情報をメディアから得る時の礎になるはずだ。身近なメディアにおける表現と言語との関わりを通して、より深い理解と今後の活用を促していけるように指導していきたい。

4 単元の目標

- ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、使うことができる。〔知識及び技能〕(2)イ
- ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立てて、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報の関係のさまざまな表し方を理解し、使っている。 (2)イ	①「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 (C(1)イ)	①積極的に映像作品の表現の特徴について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。

	②「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈している。(C(1)ウ)	
--	---	--

6 指導と評価の計画 3時間扱い(本時2/3)

次	時配	学習活動	指導上の留意点	評価規準(観点)【方法】
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> 単元で学習する内容について知り、学習の見通しを立てる。 絵コンテを見て、しくみや特徴について知る。 絵コンテの例を見て、読み取れることをまとめる。 漫画と絵コンテを比較し、共通点、相違点について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学習できるよう、学習内容について説明する。 アニメーションを作る際の情報について確認する。 人物の動きや表情、カメラの動きや視点、情景を絵だけでなく、言葉でも表現していることを読み取らせる。 漫画と絵コンテを比較して、分かる特徴についてまとめさせる。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 絵コンテの情報がどのように表現されているか理解している。 (知識・技能①) 【ワークシート①】 </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 絵コンテの特徴についてまとめられているか確認する。 (思考・判断・表現②) 【ワークシート②】 </div>
第二次	2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習を踏まえ、比較した内容について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 比較して挙げた特徴について改めて確認させ、メディアの特徴と言葉との結びつきについて考えさせる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 映像と絵コンテを比較し、絵コンテの指示について自分の考えをまとめる。 班、全体で挙げた情報について共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 映像に込められた意図や考えを、言葉でどう表現できるか考えさせる。 グループごとに別の観点に注目させ、他の観点との結びつきを考えさせる。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 絵コンテの描写について、効果的な言葉で表現しているか確認する。 (思考・判断・表現①) 【ワークシート③】 </div>

第三次	3	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を踏まえ、絵コンテの絵を見て、どのように映像化するか考える。 ・作成した絵コンテを班で紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セリフや時間、PANなどの工夫点について意図がわかるように言葉でまとめさせる。 ・絵コンテに込めた考えが伝わるように発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が表現したい内容を絵コンテで表せているか確認する。 （主体的に学習に取り組む態度①） 【観察・ワークシート④】
-----	---	---	--	--

7 本時の指導（2／3）

（1）目標

- ・絵コンテに込めた意図や考えを、効果的に言葉で表現できている。[思考・判断・表現] ①

（2）展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
7	<p>【見いだす】</p> <p>1 前時の復習をし、本時の学習と学習の目当てを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・比較した観点と共通点、相違点について確認し、それを指示している言葉に注目させる。 	教科書 ワークシート①②
18	<p>【自分で取り組む】</p> <p>2 絵コンテについている言葉について、どんな効果があるのか、自分の考えを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画との比較を踏まえ、映像で表現したいことが、絵コンテではどのように表現されているのか、言葉の効果について考える。 ・注目する観点として <ul style="list-style-type: none"> ①SE（BGMや効果音） ②PAN（カメラワーク） ③時間、場面の展開 を挙げ、選んだ観点について、自分の考えをまとめる。 	ワークシート③
		<p>○絵コンテの描写について、効果的な言葉で表現しようとしている。</p> <p>（思・判・表①）【観察・ワークシート】</p> <p>《「努力を要する」と判断した生徒への手立て》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い言葉で印象をまとめ、それを基にまとめるように助言する。 	

10	<p>【広げ深める】</p> <p>3 考えた内容を班で発表し、挙げた意見についてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵コンテに書き加える言葉の意図について、説明させる。 ・自分の考えを班で発表した後、全体での発表にむけて、班での考えとしてまとめさせる。 	ワークシート③ タブレット
10	<p>4 全体で紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えと比べながら聞き、気付いたことはメモをとるように促す。 ・表現したい内容と言葉による印象の違いについて考えさせる。 	ワークシート③ タブレット テレビ
5	<p>【まとめあげる】</p> <p>5 本時の学習を振り返り、メディアと言葉とのつながりについて改めて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の振り返りを自己評価用紙に記入させる ・次回の学習について予告する。 	ワークシート③ 自己評価用紙

8 板書計画

映像作品の表現を考える

絵コンテの言葉の効果について、自分の考えを書こう。

《比較するポイント》

- ・コマ割り
- ・情景描写
- ・人物描写
- ・動きや変化
- ・セリフ
- ・SE（音楽、効果音）
- ・PAN（カメラワーク）

など

◎映像と絵コンテを比べよう

…絵コンテの指示を見て、どのような効果があるのか考えよう。

【注目する観点】

- ・SE（音楽、効果音）
- ・PAN（カメラワーク）
- ・時間、場面の展開